

伊佐市地域における映画「半次郎」の時代

その1 伊佐市地域における西南戦争の戦闘

昨年、伊佐市でロケが行われた映画「半次郎」(伊佐市出身の俳優・榎木孝明氏企画・主演)の先行上映会が、平成22年9月11日(土)・12日(日)の両日、伊佐市文化会館で開催されます。

その関連企画として、ここでは映画「半次郎」をもっと楽しむために、作品の主な時代背景となる西南戦争について、特に当時の伊佐市地域での戦況を中心にご紹介いたします。

文責:伊佐市教育委員会 文化スポーツ課(伊佐市文化会館:0995-22-6320)

○ 戦いのはじまり

明治10年(1877)2月15日、西郷軍本隊が熊本に向けて鹿児島を進発し、西南戦争が始まりました。

2月21日には熊本城の攻防戦が始まったものの、圧倒的な兵力を誇る政府軍は3月20日に田原坂を突破します。その後、西郷軍は4月13日に木山(現益城町)さらに八代方面へ撤退を続け、4月28日には人吉に本営を後退させました。

○ 戦場と化した伊佐市地域

・ 政府軍の伊佐市地域侵攻

佐敷・大口方面の緒戦



小川原正道『西南戦争』(中公新書一九二七、二〇〇七年二月、中央公論新社)一五五ページより引用

政府軍は人吉に向けて軍を進める一方、八代から薩摩街道(現在の国道3号線)沿いにも軍を南下させ、5月2日には水俣に到達しました。

この政府軍の動きを察知した西郷軍は、4月28日、桐野利秋の指示により、逸見十郎太率い

る雷撃隊・池辺吉十郎率いる熊本隊など合わせて約1000人が、大口に向かいました。

5月5日には、西郷軍と政府軍が山野で戦闘を開始し、大口の旧郷士は小木原に出て火縄銃をもって応戦しましたが撃退され、6日、政府軍は郡山まで進攻しました。

10日、西郷軍は増援を得て攻勢をかけ、山野方面の政府軍を水俣方面へ敗走させ、さらに久木野(現水俣市)を拠点に兵を配置し、政府軍の再進攻に備えました。

その後、佐敷・水俣・大口にかけて一進一退の攻防戦が続くものの、6月1日には人吉が陥落し、西郷軍本隊は宮崎方面に撤退しました。

それに呼応して政府軍は大口方面でも攻勢に出て、6月8日、小川内・山野に進軍しました。

一方、西郷軍は、逸見十郎太率いる雷撃隊が坊主石山に、池辺吉十郎率いる熊本隊が高熊山に陣地を構え、政府軍の攻撃に備えました。



向かって右が坊主石山、左が高熊山
(大口木ノ氏から人吉方面を望む)

・高熊山・坊主石山の戦い

6月18日、政府軍は高熊山・坊主石山の西郷軍への攻撃を開始し、激しい戦闘のすえ坊主石山は政府軍に奪われました。

19日、政府軍は高熊山を包囲して砲壘を築き、大砲をもって激しく攻撃を加えます。高熊山で戦った熊本隊の兵士の一人は戦後、「休み無く一斉乱射が続き、まるで万雷が頭上で墜落するようであった」(佐々友房『戦袍日記』)と当時を振り返っています。

高熊山山頂には、現在でも当時の塹壕の跡や弾痕を受けた岩などが残り、激しい地上戦の様子を生々しく現在に伝えています。



高熊山山頂に残る西南戦争時の弾痕
(岩に点々とあいている穴が弾痕)

6月19日、激しい戦闘の後、高熊山の陣地も陥落し、西郷軍は大口径に撤退しましたが、羽月方面から進軍する政府軍の攻撃を防ぎきることができず菱刈方面に撤退し、政府軍はついに大口径を占領しました。

・菱刈地域の戦い

大口から撤退した西郷軍は、菱刈本城を拠点に戦闘体勢を立て直し、川内川を挟んで政府軍と対峙しました。そして川内川左岸一帯(現湧水町広田～菱刈本城～大口曾木)に軍を配し防衛ラインとし、これを「長蛇の塞」と呼びました。

6月29日、政府軍は隊の一部を鶴田(現さつま町)に進軍させて川内川左岸に渡河し、大きく迂回して本城周辺の西郷軍の背後を突く作戦を開始しました。翌日、政府軍は総攻撃を加え本城周辺の西郷軍を横川方面へ敗走させました。

これにより、伊佐市地域での戦闘は終結し政府軍の支配下に置かれることになりました。

【参考文献】

- ・ 小川原正道『西南戦争』(中公新書1927、2007年12月、中央公論新社)
- ・ 『大口市郷土誌 下巻』(大口市、1978年12月)
- ・ 『菱刈町郷土誌 改訂版』(菱刈町、2007年3月)

西南戦争 略年表(伊佐市での戦闘を中心に) 明治10年(1877)

- 2月15日 西郷軍本隊が熊本に向けて鹿児島を進発。
- 2月21日 熊本城攻防戦開始。3月4日、政府軍、田原坂総攻撃、同月20日突破。
- 4月13日 西郷軍本営、熊本城下から木山(現益城町)に撤退。
- 4月28日 西郷軍、人吉に集結。
- 同 桐野利秋の指示により、西郷軍の逸見十郎太率いる雷撃隊・池辺吉十郎率いる熊本隊等約1000人が大口に向かう。
- 5月5日 川路利良率いる別動第三旅団を中心とする政府軍と西郷軍が、大口・水俣の県境周辺で戦闘開始。
- 6月1日 西郷軍、人吉の攻防に敗れ宮崎方面に撤退。以後、宮崎が主戦場となる。
- 6月19日 大口・高熊山の西郷軍陣地が陥落、その後大口市街で戦闘。西郷軍、菱刈方面に撤退。
- 6月30日 政府軍が菱刈本城周辺の西郷軍に総攻撃。西郷軍、横川方面に撤退。
- 7月1日 西郷軍、横川を政府軍に奪われ宮崎方面に撤退。
- 9月24日 西郷隆盛・桐野利秋等、政府軍総攻撃のなか城山で死去。西南戦争終結。